

## コアシンポジウム 2

### 「機能性消化管疾患～最新の診断と治療～ 【これまでの軌跡と新展開】」

主司会 二神 生爾（日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科）

副司会 田中 史生（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

機能性消化管疾患は消化管全域が対象となり、食道運動障害、難治性 GERD、機能性ディスぺプシア、過敏性腸症候群、機能性便秘・下痢症など多岐にわたる。その病態は複雑で、運動障害、粘膜微細炎症や透過性亢進、内臓知覚過敏、腸内細菌といった多因子が関与する。近年では新たなモダリティによる機能評価の試みや、新規治療についても模索されているが、依然多くの課題が残されている。本セッションでは病態、診断、治療等についての基礎的・臨床的演題を募集し、これまでの軌跡の進化や新たな展開を期待する。